臺灣日日新報

本日二頁

天皇 皇后兩陛下 皇太后陛下に御對顏

【東京發】天皇、皇后兩陛下には二十九日午前十一時三十分宮城御出門自動車にて侍從長陪乘、松平宮相以下供奉の御同乘略式自動車にて御道路を大宮御所に行幸啓 皇太后陛下に御對顏、歳末の御挨拶を御交し遊ばされた御後、正午三陛下御揃ひにて午餐を召させられ種々御物語りあらせられ午後三時大宮御所御出門、天機並に御機嫌御麗しく宮城に還幸啓あらせられた

樞密院本會議

【東京發】二十九日の樞密院定例本會議は天皇陛下臨御の下に午前十時より宮中に開會、原、鈴木正副議長外各顧問官、政府側東條首相以下各[illegible]

緊急勅令

一、官吏[illegible]の三勅令制定の件

を上議、清水審査委員長より審査報告を行ひ全會一致政府原案通り可決、次で

一、朝鮮總督府裁判所令戰時特例制定の件

を上議、堀江書記官長より審査報告を行ひ全會一致政府原案通り可決、同十時半散會した

敵機卅一を擊墜
ラバウルに五十機邀擊

【東京發至急報】大本營發表（十二月二十九日十六時）帝國海軍航空部隊は十二月二十八日早朝ラバウルに來襲せる敵戰鬪機約五十機を邀擊しその三十一機（內不確實十）を擊墜せり

我方の損害 未歸還三機

彼我熾烈な空中戰

【東京發】十五日マーカス岬へ二十六日にはグロセスター岬へととりつきラバウルと地續きのニューブリテン島西南ならびに西北岸に足場を築いた敵は、我が海鷲の連續的猛擊に甚大な損害を蒙り乍らもラバウル攻略の野望に燃え上陸部隊への補給増强を强化すると同時に殆ど連日に亘りラバウル始め同方面我が基地への攻擊を反復し續けて來たが、二十八日早朝にはまたもボートシコルスキーF四Uを主にグラマンF六F、ロッキードP38等約五十機の戰鬪機隊を以てラバウルに攻擊を加へて來た、我が海軍戰鬪機隊は直ちにこれを邀擊彼我入亂れての猛烈な空戰を展開してF四U三十機、F六F一機計三十一機を叩き落したのであつた。擊墜率は實に六割二分の高率であり二十七日のラバウル上空邀擊戰における來襲敵機五十機中擊墜二十三機をも凌駕[illegible]る敵機の熾烈な反復爆擊の許烈化

同時

に戰爆連合の大編隊を以て我同方面最强力基地ラバウルを始めカビエング等に對し熾烈な攻擊を反復、二十六日には更に敵一部兵力はニューブリテン島西北岸グロセスター岬の東西兩岸に上陸するに至つた、斯くてラバウルは今や敵の直接間接の半月形包圍攻擊を受けて航空機を主體とす

[illegible]十七の三日間に亙り敵は出擊船艇の約九割を海底深く葬り去られ僅一部兵力がマーカス岬周邊に辛うじて取りついたに過ぎなかつたが爾後敵は我海鷲の晝夜の別なき猛烈爆擊に痛烈な損害を蒙りつつも上陸部隊に對する增援、補給企圖を棄てず飛行場設營に橋頭堡設定に突き進み

苛烈な戰況を概觀

【東京發】ブーゲンビル島方面に[illegible]における[illegible]ハルゼー進攻に呼應しニューブリテン島奪取をめざすマッカーサー進攻は去る十五日のマーカス岬並にビレロ、アラウエ兩島上陸を發端として俄然激烈化し歷次の大本營發表に見る如く我海鷲の烈々たる猛擊は世紀に輝く大戰果を矢繼早に打樹てたのであるが、戰局は斯かる勝利の記錄をもつてしても些かの樂觀をも許せない深刻苛烈な相貌を愈々深く露呈するに至つた、即ち十五、十六、十七の三日間に亙り敵は出擊船艇と共に敵機は[illegible]に一齊攻擊へと突入したのである、以下十五日以降の同方面における戰況を概觀すると二十八日までの十四日間になけるラバウルへの來襲敵機延べ機數は約五百十九機に達し我海軍戰鬪機隊はその約三分の一に達する百八十二機を擊墜した、ニューアイルランド方面[illegible]カビエングに[illegible]を以て攻擊を加へ我海上部隊はその三機を擊墜した、この來襲機は何れも空母より發進せるもので我海鷲は同日ソロモン方面基地一帶に嚴重な索敵網を張り巡らして盤にブーゲンビル島北方海域に[illegible]

[illegible]

[illegible]た、この兩島上陸地點に對しても[illegible]熾烈な爆擊を反復し廣大な損害を與へ、ビレロ島の如きは我爆擊により[illegible]文字通り燒野原と化するに至

[illegible]斯くの如く同方面を繞る彼我の[illegible]は激烈に日一日と熾烈化しつつあり戰果の面から見ると敵は厖大な船舶、飛行機は言ふに及ばず尨大な人命を不惜な野望の犧牲としてゐるが戰局は敵の斯かる熾烈な消耗にも拘はらず愈々重大化しつつあり吾々はこの事實を强く茲で直視し一層一億の增產に挺身せねばならない

第六、九戰區を擊滅
敵屍、俘虜四萬七千
常德攻略の綜合戰果

【東京發至急報】大本營發表（十二月二十九日十四時）

一、十一月二日より洞庭湖西方地區に作戰中なりし帝國陸軍部隊は重慶抗戰力の根幹たる第六、第九戰區の敵主力を擊滅すると共に該方面の要衝常德周邊の諸軍事施設を完全に覆滅せり

二、作戰部隊は所期の目的を完全に達成し十二月二十五日原態勢に復歸せり

三、本作戰間の綜合戰果次の如し

敵に與へたる損害

我方にて收容せる死體 三萬二千七百四十七

俘虜 一萬四千三百二十五

常德附近における飛行機擊墜 六十機

主なる鹵獲品 火砲百五十八門、重輕機六百五十七挺、小銃六千三百五十六挺、各種彈藥二百三十六萬發

我方の損害 戰死 千六百六十六名

重慶陣營に甚大打擊

【中支前線○○二十九日發同盟】今次中支軍の冬季常德攻略戰は去る十一月二日火蓋を切つて落してより文字通り[illegible]を續け東西三百粁南北百數十粁の廣大なる地域に亙り敵第六戰區軍を席捲し、その十四箇軍合計二十八箇師を殲滅、重慶防衞の中核地帶を徹底的に覆滅して偉大なる戰果を獲得すると共に、重慶防衞戰力破碎を完全に遂行して作戰軍は十二月二十五日ここに原態勢に復歸した、突進突破六十有餘里の今次奧地進攻作戰は最初よりの一城一塞の奪取を目標とするものではなくてあく迄敵戰力の破碎にあり、重慶防衞の中核地帶を殲滅して重慶抗戰力の根幹たる第六戰區の戰力を徹底的に

擊滅

せんとしたものであつて、重慶陣營に與へたる打擊は實に甚大なるものがあり、敵二十八箇師の兵力擊滅と敵重慶が數ケ年の歲月と數億の巨費を投じて築きあげた常德周邊の防禦陣地を殲滅したことは我が突進突破の强烈なる戰力を堂々世界に顯示したもので、更に常德以南の第六戰區に於ては[illegible]

敵は我が突破口を閉鎖する兵力を全く失ひ遂に第九戰區或は南西南方方面から第一次第二次と常德救援部隊を繰出す有樣であつたが然も第一次常德救援の第十、第九十九、第百の三軍は常德南方地區で我に捕捉殲滅され第二次救援軍たる新編第二、第五十九、第七十二の三軍も我が威力に恐れて只掛聲許り大きかつたが、我が巧妙を極めた

作戰

のため隨所に擊破される悲運に陷り遂にその常德救援の目的は一つとして達し得なかつた、まさに廣大なる地域に於て二箇月餘に亘つて展開された常德防衞線の突破殲滅戰は對重慶攻略に重大なる示唆を得たことは見逃すことが出來ない、一方今次作戰に於て在支米空軍は中國に於て數くP51、P40、P43、B25が戰場にその姿を見せはしたが戰果は殆どなく彼等は[illegible]共同作戰の建前から[illegible]に參加したものと見るべきで、これに對して我が方は擊墜六十機の戰果を擧げ、ここにまた我が陸軍航空部隊の優秀性を世界に誇示せるに至つた、次ぎに今次作戰に於ける敵の遺棄した死體三萬二千七百四十七、俘虜一萬四千三百二十五の敵の人的大損害を見ると遺棄死體に比し俘虜數の多いことが今次作戰の

特徵

を物語つてゐる、第一次長沙作戰（遺棄死體五萬四千、俘虜四千三百）第二次長沙作戰（遺棄死體五萬七千二百、俘虜一千九百五十七）浙贛作戰（遺棄死體四萬千九百六十、俘虜一萬九百九十二）大別山作戰（遺棄死體六千五百、俘虜千五百五十）宜昌作戰（遺棄死體一萬八千、俘虜三千五百）等に比し今次作戰に於ては俘虜の著しく增加してゐることが目立ち、これは畢竟重慶陣營に於ける將兵の抗戰意識の低下を雄辯に物語るものと言ふべく、蔣直系の第六戰區に於て斯る實狀から推してその抗戰意識の薄弱ぶりが察知される、更に今次作戰の著るしい特徵として鹵獲品に火砲が過去の作戰に比し壓倒的多數にのぼつてゐることである、即ち山砲速射砲、步兵砲迫擊砲等でその百五十八門を得たがこれを過去の第一次長沙作戰の七十門、第二次長沙作戰の八十五門宜昌作戰の四十四門、大別山作戰の六門、浙贛作戰百三十門、江[illegible]作戰の九十九門に比較すると著るしく

增加

してをり、これは我が强烈なる突進突破作戰が悉く包圍殲滅であつたこと、更に徹底した奧地進攻を敢行して敵の補給兵器を奪いてこれを捕捉殲滅したことが主因であり、我が中支作戰軍將兵が如何に精鋭且つ勇敢無比なるかを如實に物語つてゐる、重慶防衞の中核たる第六戰區の徹底的擊滅力破碎の偉大なる今次作戰の戰果に對して畏くも御嘉尚の御言葉を賜はり作戰軍將兵の感激は更に新たなるものがあり今後一段の奉公を誓つて儼然たる大陸の護りについてゐる

洪駐剳公使新京着

【新京二十八日發同盟】歸國の途にあるハンガリー駐剳大久保公使一行は二十八日午後新京に到着した、一行は三十一日新京發にて東上の豫定である

社說

皇奉の新陣容に期待す

去る十八日發表された本部機構並に支部事務局設置に伴ふ臺灣皇民奉公會の人事が一昨二十八日一せいに發令をみた。

今次の中央本部機構改革並に支部事務局設置の決定實施をみた[illegible]その[illegible]に逼隨し[illegible]にその本來の[illegible]が[illegible]陣容を整るにふさわしき新陣容を盛るにあるはいふまでもないところであるが、つねにいふが如く機構の問題は究極に於て「人の問題」につながり「人」を得るや否やといふことの如何は同時にその機構をして眞にいのちあらしむることでもあるのである。

この意味に於て皇民奉公會中央本部及び支部事務局の人事は、吾人の多大なる期待を寄せてゐたところであり、殊にその明ひとつとする民間人の活用は、皆に今後の奉公運動上の みならず、皇民奉公會が果して[illegible]如く[illegible]の意味に於け[illegible]位に据ゑたといふことである

[illegible]ゐる國民組織なりや否やの、全性格にも關聯する重大問題として、非常なる關心を拂つてゐたところであつた。

◇ ◇

爭ひ、その「人」を得たりや否や、一昨發令をみた新役員人事に於て吾人が[illegible]に斷定するのを得ないが、特に今次の皇奉人事に於て吾人の注目を惹くところは、民間人の活用、專任役員制の確立といふ根本方針の外、本島人知識階層中、指導的立場にある人々を然るべきその地位に据ゑたといふことである

◇ ◇

今次人事に多少とも清新さ[illegible]たる味はひがあるとするならば、蓋しその理由はここにあるものと思ふ。[illegible]は[illegible]をして[illegible]二十八日の閣議に間に合はなかつたことである。これは[illegible]長の地位の重大性と、各地方に於ける種々複雜なる內部事情がその銓衡を遅滯せしむるに至つた最大の理由であらうと思ふが、萬一道聽途說、聞くところの民間人なしなどといふ一部官人の思ひ上つた態度によるものとするならば言語道斷といはねばならぬ。

化に伴ひ當然新陣容の確立をみるものと期待せる支部事務局長の人事が、臺中州を除いて二十八日の閣議に間にあはなかつたことである。これは、本島[illegible]

凡そ「人」は「人」がつくるものであつて、みづから自然發生的に所謂「偉」くなるのではない。人はその地位によつて寵し、といふ俗諺はこの意味で一面の眞理を含む。從つて、古來名君賢相といはれる人々は野に遺賢なからしむることを以つて政治の要諦とした。

みづから野に遺賢をもとむる心なくして「人」なしと慨嘆することは政治指導者のとるべきことではない。地方當局の速かなる決斷を要望して已まない所以である。

敵機十六を擊墜破
陸鷲精鋭遂川に進攻

【○○基地二十八日發同盟】大陸に於ける空の日米決戰は愈々苛烈化の度を深め我が在支陸軍航空部隊は執拗に來攻する敵機を擊碎する一方、終始先制攻擊を敢行して不逞なる敵の野望を粉碎してゐるが、廿七日我が陸鷲精鋭は江西省遂川飛行場に先制進攻、敵機十六機擊墜破の大戰果を收めた、即ち我が戰爆連合の陸鷲編隊群が午後二時半頃遂川上空に殺到すでに○○○○米の高度にあつて邀擊態勢を整へてゐた敵P40、P43、P51等の二十數機と約二十分に亘り激烈なる空中戰を展開、內P40、P51等八機（不確實一機）を擊墜すると共に地上にあつたノースアメリカンB25七機、P40一機を以つて捕捉內B25二機、P40一機を炎上、B25五機を擊破せしめたる大戰果を擧げ全機悠々基地に歸還した

敵側の發表

【リスボン二十八日發同盟】ニューギニア[illegible]基地來電＝西南太平洋反樞軸軍司令部はニューブリテン島マーカス岬附近の日本軍の反擊が猛烈を極めてゐる事を認め二十八日次の通り發表した

マーカス岬の日本軍守備隊はアラウエ附近の米軍前哨線に對し三方面から猛烈な反擊を加へたが、米軍前進部隊は後退を餘儀なくされた

ノックス例の如く小出發表

【ブエノスアイレス二十八日發同盟】米國軍は二十六日ニューブリテン島グロスター岬方面に上陸したといはれるが、ワシントン來電に依れば海軍長官ノックスは右上陸に關しての米國艦隊の損害を例に依つて小出し發表し『驅逐艦一隻、沿岸貨物船一隻を喪失した』旨言明したと傳へられる

大東亞の食糧增產策
纖維增產方策要領決る

【東京發】大東亞建設審議會[illegible]八回總會は二十八日首相官邸に開催せられ大東亞地域の食糧增產方策及大東亞地域の纖維原料增產方策の二答申案を附議決定したがその內容は二十九日午後四時情報局より左の如く發表された、右二方策は去る四月九日の第八回總會において東條首相より大東亞地域における食糧、纖維原料、礦產等の諸增產方策につき諮問せられ審議會は直ちに農林大臣、商工大臣、大東亞大臣を夫々部會長とする第七、第十一、第十二部會を設置し斯界の權威者を專門委員に加へ愼重審議立案に當り食糧、纖維原料增產についての答申案を得たので[illegible]の進展と大東亞建設[illegible]を見たものである

【東京發】情報局發表（二十九日午後四時）二十八日の大東亞建設審議會に附議決定せられた大東亞地域の食糧增產方策及大東亞地域の纖維原料增產方策要領左の如し

一、大東亞地域の食糧增產方策の要旨、大東亞共榮圈全域に亙る食糧生產は圈內における人口增加に即應して益々これを增强し大東亞を通じる確固不動の自給態勢を確保するを根本とするも現下時局の推移に鑑み他面においては圈內各地域夫々食糧自給の完璧を期し特に日滿を中心とする圈域においては食糧の緊急增產を行ひ以て食糧自給の完璧を期するものとしこれがため農民の農業奉公精神の發揚、皇國における農業勞力の確保並に適正なる配置の策定及これらに對する技術の供與その他物心兩面に亙る積極的なる協力、各地域の實情に應じその農民の慣績に應ず[illegible]

二、大東亞地域の纖維原料增產方策の要旨、大東亞の纖維資源に對しては[illegible]時重要物資の需要見返り用並に圈內諸民族の戰時生活の維持用等としてその使命益々重大なるものあるをもつてこの際大東亞を通じ纖維資源の綜合的增產につき格段の努力を拂ひ以て大東亞戰爭完遂に遺憾なからしむると共に能ふ限り速かに纖維資源の自給確保を期することを目途とし棉花、麻類、羊毛、パルプ等各種纖維資源の增產につき大東亞を通ずる綜合的計畫並にこれに基く地域別計畫を樹立し、單位面積當り收量の增加食糧作物等との土地用區分、耕地の效率的利用、重要纖維資源增產に對する農民の熱意の昂揚適正價格の設定、各地域の特性に應ずる集荷對策、化學纖維の增產及製品品質の向上、纖維の開發及消費の節約及必要時における回收等を記述すると共に各種纖維資源別に詳細に亙る增產對策を揭げたり

閣議決定

日滿の食糧策强化
自作農創設促進方針

【東京發】政府は日滿を通ずる食糧自給態勢を確立し決戰下戰力の基底をなす食糧確保に萬全を期しつつあり昭和十九年度の決戰施策中の一項にも食糧の增產及び確保に關する件を決定、日滿を通ずる食糧自給の體制を確保せんとしてゐるが、現下の食糧事情に鑑み二十八日の閣議で『食糧自給態勢强化對策要綱』を附議、山崎農相より說明の後決定した、右は內閣參事官室が原案としてとり上げ立案調整を圖り內閣三長官の議を經て閣議決定の運びとなつたもので、この內容は二十八日午後情報局より發表、また同日の閣議で『自作農創設の促進に關する件』の決定をみたが、これは皇國農村の核心をなす自作農の創設も促進し食糧增產を期さんとするものである

一、食糧自給態勢强化對策要綱

一、自作農創設の促進に關する件

情報局發表（十二月二十八日午後三時）

閣議は日滿を通ずる食糧自給態勢强化對策要綱を決定午後三時情報局からこれが內容を左の如く發表した

◇食糧自給態勢强化對策要綱

一、方針 日滿を通じ國民食糧を確保するの國家要請いよいよ緊切なるものあるに即應し土地利用の徹底的强化、技術指導の刷新充實、農地改良開墾業の急速實施などの既定諸方策其他食糧增產に寄與し得べきあらゆる方途を强力に推進するの外食糧自給態勢の强化を期し更に左の對策を講ずるものとす

二、要領

（一）戰時農業要員の指定、戰時食糧增產確保上農業者をして生產に對する國家的意識を昂揚し責任と矜持をもつて精勵せしむるため左の措置を講ずること

（イ）基本たる農家の經營主及びその世帶に屬する農業從事者（當該農家の耕作面積、耕作物の種類に依り必要なる限度とす）は戰時農業要員として行政廳これを指定すること

（ロ）戰時農業要員は戰時中十分に生產力を發揮すべき農業經營を繼續する責務を有するものとし他の職業に轉ずる場合は行政廳の承認を要するものとすること

（註）戰時農業要員は離農統制を受け居るものにつき地方の實情に即しこれを指定するものとし徵用よりこれを除外する取扱をすること

（ハ）市町村における[illegible]

（二）[illegible]

（三）農地に關する統制

（イ）農地の讓渡、農地の賃貸借契約の締結、解除、解約及び更新の許可は戰時中何れも行政廳の承認を要するものとすること

（ロ）行政廳は耕作農地の生產力の發揮を怠たる農家についても食糧增產上必要ありと認むる時は[illegible]

[illegible]

（イ）部落を單位として[illegible]家を數戶宛班を編成せしむると各班に班長をおき當該班における增產確保の責任者たらしめ農業會長市町村長などと連絡を密にし敏速に班內の增產確保上必要なる措置を講ずる責務あるものとすること、尙班長に對しては一定の手當を支給すること を考慮すること

（ロ）道府縣及び中央において食糧增產隊の編成を擴充し農村の要請に應じ隨時隨所に出動せしむること、增產隊の編成に次ぎては都會地における轉廢業者の活用にも努むること

內地の人口調査
明年二月廿二日に實施

【東京發】政府は戰局の進展に伴ひ軍需生產、食糧生產及び交通運輸等の戰時重要業務給源の狀況を明かにし併せて食糧その他の國民生活用品の配給統制の實施等、重要政策の遂行上最も信賴し得る人口統計資料を整理するため資源調査法に基き緊急に內地を限り人口調査を行ふこととなり、二十八日の定例閣議において昭和十九年人口調査要綱を附議決定したので同日午後三時情報局より左の如く內容を發表した

今般の人口調査は內地（樺太を含む）現住者に限り明年二月二十二日午前零時現在を以て實施せられ調査の方法はこれまでの國勢調査と大差ないが、銃後の國民に大きな意義がある、又從來國勢調査が中央集査の方針により一億餘枚の調査票を悉く中央に集めて調査したのに對し今回は地方分査により全國一萬一千餘有の市町村が調査單位となつて統計表を作り內閣統計局に提出、統計局では府縣別に全國的な統計をなさんとするもので僅四十日足らずの間に調査を了せんとしてゐる點に特色がある、統計局ではこの重要な前人口調査を完成するため全國民の積極的な理解と協力とを切望してゐる、なほ國勢調査は大正九年以來今日まで五年毎に五回に亙り實施せられてをり昭和二十年が第六回國勢調査の實施となつてゐる

情報局發表（十二月二十八日午後三時）

政府は左記要綱に依り昭和十九年人口調査を行ふこととしこれに關する事務は內閣統計局をして主管せしむることとせられたり

昭和十九年人口調査要綱

一、調査の目的 戰局の進展に伴ひ軍需生產、食糧生產並に交通運輸等に要する人員の充實及び食糧その他國民生活用品の配給等の重要計畫上各省に於ても信賴し得べき人口統計資料を要求す、仍て資源調査法に基き緊急に內地を限り人口調査を行はんとす

二、調査の範圍 調査の時期に內地（樺太を含む）に現在する者、但し陸海軍の艦艇、船舶にある者を除く、尙從來の特別調査區域たる宮城、外國の大使館、公使館、領事館等については別途調査す

三、調査の時期 昭和十九年二月二十二日午前零時

四、調査の事項 （一）住所（二）氏名（三）男女の別（四）年齡（滿年）（五）配偶者の有無（六）所屬の產業（七）從業上の地位（八）兵役の關係

五、調査の方法及び順序 各人毎に一枚の申告書を用ひ世帶主より申告せしむ、市町村の區域を調査區に分ち各調査區に調査員を置く、この場合調査區の區域はなるべく町內會、部落會、隣組等の區域に適合せしむ、調査員は調査前擔當調査區內の各世帶の狀況を調べ照査表を作成し申告書用紙その他の準備をなす、調査員は調査の直後申告書を蒐集しこれを照査表と共に市町村長に提出す、市町村長は各調査員より提出したる申告書により所要の統計表を作成し申告書と共に地方長官に提出し地方長官はこれを取纏め內閣統計局長に送付す、內閣統計局においては各市町村長の作成したる前記統計表により郡府縣別に集計する外申告書により必要なる統計表を作成す

法院並に食糧營團人事發令

總督府では法院關係の人事異動と臺灣食糧營團設立委員の任命を左の如く發令した

臺北地方法院檢察官 寺尾 隆榮

高等法院檢察官 臺南地方法院檢察官 大島 長男

兼補臺南地方法院嘉義支部檢察官

臺灣食糧營團設立委員長を命ず 總務長官 齋藤 樹

臺灣食糧營團設立委員を命ず

財務局長 高橋 衛

鑛工局長 森部 隆

農商局長 須田 一二三

警務局長 山內 逸造

食糧部長 中平 昌

交通局總長 副見 喬雄

臺北州知事 坂口 主稅

新竹州知事 江藤 昌之

臺中州知事 森田 俊介

臺南州知事 宮尾 五郎

高雄州知事 高原 逸人

臺東廳長 山岸 金三郎

花蓮港廳長 廳谷 隆夫

澎湖廳長 大田 政作

元食糧局長 奧山 滋郎

米穀委員 加藤 恭平

米穀委員 香久 忠俊

臺灣製粉配給組合長 加藤 博一

米穀委員 木村 泰治

米穀委員 姜 振讓

同 國江 南鳴

臺北市米穀配給組合長 清水 紀代治

米穀委員 水津 彌吉

三井物產支店長 武島 節夫

三菱商事支店長 谷田 敏夫

基隆市米穀配給組合長 玉理 三造

米穀委員 中屋 文男

臺灣倉庫株式會社社長 三巻 俊夫

臺灣麥類配給組合長 森尾 昇

米穀委員 林 澄坡

社告

新聞用紙並に印刷諸材料の騰貴と一面減頁に由る廣告料の減收に對處せんが爲め內地新聞は既に十一月より定價の値上げを實行致しましたが弊社も同樣の事情に基き來る一月一日より一ヶ月購讀料を一圓六十錢に改定致しますから何卒讀者各位の御諒承を御願ひ致します

昭和十八年十二月三十日

臺灣日日新報社

人事

▲坂本信道氏（彰銀頭取）廿九日來北（鐵道ホテル）▲河越順市氏（南日本鹽業常務）廿九日來北（鐵道ホテル）▲石井林次郎氏（東臺灣電常務）來北中のところ二十九日歸社 ▲萩原鐵藏氏（臺灣パルプ常務）二十九日歸社 ▲田邊利可氏（臺灣パルプ支配人）二十九日來北（鐵道ホテル）▲林茂生氏（皇奉中央本部國民動員部長）▲藤縄正義氏（同奉時生活部次長）挨拶に本社來訪

けふの官報

▲告示 纎維製品たる絲（三ツ打もの）綱、玉糸、及び撚絲並に檜肌の最高販賣價格指定廢止、合成染料の最高販賣價格指定中改正、臺灣、滿洲間電話通話に關する料金額改正の件、彰化水利組合區域變更認可

貯蓄總攻擊！

これにあなたの保險料をお加へ下さい

安田生命

流產 早產等、ビタミンE缺乏障碍に……姙娠初期よりユベラの適用が推奨される。

ビタミンE劑 ユベラ

一五〇錠・七五〇錠

新年號 講談倶樂部

前線の將士へ、雜誌を送りませう

ハワイ大空襲

松村秀逸大佐 ほか

綾羅木記 毛利元就 水にも火にも 吉良の仁吉

人物夜話 新しく大きな村

長篇連載 潮 村雨退二郎

長篇連載 鰹の町 ほか

定價五十錢 大日本雄辯會講談社

新年號 特價四十錢 文藝春秋

十二月二十四日發賣、賣切れますからお早く書店へ御豫約を

平林中隊長 ほか

日本こころ ほか

皇國企業體制の維新 橋野 ほか

神州の正氣

粉食と糧食 優劣論 大槻 正男

勤勞者の健民食 梶山 ほか

赤松月船 吉植庄亮 船橋聖一 清家正 市村其三郎

すめらべに（歌）房內幸成

日本の空 ほか

話の屑籠 菊池寛

文藝春秋社發行

中央公論 新年號・七十錢

世界戰局と日本★ 長谷川才次 矢部貞治 武村忠雄

大詔の根本義…大串兎代夫

產業國家體系論…大熊信行

對敵思想戰の本義…吉野信次郎

航空機增產の方途…大河內正敏

日本革新史觀…寺田稻次郎

（歌）海上日出 岡 麓

（句）霧の劍 高濱虛子

雨季（創作）火野葦平

企業整備斷行に當り
食糧品部會の態度愼重

本島に於ける戰力增强企業整備基本要綱の發表は去る二十一日の閣議により企業整備斷行に伴ひ必要とする督府申請追加豫算が第二豫備金として國庫支出と決定するや、年内必至と見られてゐたが、愈々之が實現確實となつた模樣である、かくて本島に於ける企業整備斷行態勢は決戰下新春に入ると同時に之が著しき進捗を見るものと期待されるが、臺灣中小商工業再編成協力會では二十九日午後一時より農商局會議室に於て村山臺灣商議理事、田中米穀、臺灣食品兩食糧部課長、協力會食料品部長外食品主要關係者出席の下に食料品部會を開催、食料業者の要整備率等につき三時間半に亙り愼重協議を遂げたが、之が結論を得るに至らなかつたので新年早々同部會を開催することとした、この結果食料品部長は部長としての要整備率を握る譯で、協力會は更にこの部長案を俎上に愼重審議をなす筈である

軍官民一體結集
大いに頑張つて戴きたい
福田高雄警備府司令長官馬公で語る

【馬公發】福田高雄警備府司令長官は二十八日午後三時馬公官邸に於て記者團を引見して大要左の如く語つた

"四年半振りにやつて來たが臺灣の各地ともに青少年層が著しく目覺め時局の要求に應へて各種の鍛成その他に一生懸命に努めてゐる實情を親しく見せられて力強く感激させられるものが多い、先づ自分はこのことを一番先に感じた、この時局下一億一體總力を結集して聖戰完遂に決死的努力を傾倒すべき時に際つて斯くの如きことは國民として當然なことではあるが過去を知る私には、この好轉せる實相を眼で非常に愉快でならぬ、まだいろいろな人にお會ひして話も聞かないし又各方面の實情をみないから何とも言へないが、とにかく當地が重要特殊地帶たる事には何等の變りなく、むしろ益々その重要性は加重されつつあるので軍官民一體結集して大いに頑張つて戴きたい、戰爭は愈々苛烈凄惨を極めて來つつあるが、なあにお互ひ大いに頑張つてやる事だね"と強い自信の眼を輝かして至つてくだけた明朗な司令長官振りを見せた

晴れの御儀を終了
賀陽宮家、徳大寺家御慶事

【東京發】賀陽宮恒憲王殿下第一女子美智子女王殿下には御定の如く二十九日侍從徳大寺實厚公二男陸軍中尉徳大寺齊定氏の許に御目出度く御降嫁あらせられた、齊定中尉は當年廿三歳、美智子女王殿下には御芳齡二十一歳にわたらせられるが御兩親宮殿下の御喜びの程拜察するだに畏き次第である、この日麹町區三番町の賀陽宮家御殿には朝香大將宮殿下を始め奉り各皇族殿下御近親者など參賀され慶色に滿ち溢ちたが御喜びの姫宮殿下には御小袖御長袴の御雅やかな御裝ひも優しくたけき御すべらかし御姿も輝かしく御殿に御參拜の御後御參内の各皇族殿下御近親御挨拶あらせた

羽ばたけ荒鷲
南の空へ

撫子の香をツバサに…

日婦二十三萬結集
飛行機資金を獻納

◇…南の海に空に連日連夜繰廣げられる血戰、そして我が前線の勇士の血の雄叫びに銃後一億も亦赤誠の總力を結集してゐる、この嚴しく戰勢に即應し本島青年が待ちに待つた光榮の徴兵制、然も昭和二十年を期にして陸海の志願兵制度が布かれ

◇…幾百萬の若人は勇躍して起つた、いまこそ大君の邊に死に得る勝[illegible]、この本島青年の晴の光榮の前途を祝するとともに、この赤誠な若人の臨陣に對し日本女性の腕は細くとも國を守る心と戰ひ[illegible]しと敢然蹶起した日婦臺南州支部では

◇…州下會員二十三萬が總力を結集し、七月一日より五十日間に亙り"一人一日一錢"の標語の下に飛行機獻納貯金を開始、一日一錢の額は少くとも積り積つた赤誠は大きく、この程十六萬圓に達した、これだけあれば飛行機一臺は出來ますと二十九日午前十時宮尾日婦臺南州支部長、藤本副支部長、近藤主事以下

◇…十一名の代表は打連れて上北早遠軍司令部を訪れて永野高級副官に一日も早く勇ましい鷲を南の空へ送つて下さいと申出た、やがてこの國思ふ心に燃ゆる撫子の香を翼に充實が南の空に羽ばたく日も遠くはあるまい【寫眞は日婦臺南州支部代表資金獻納式】

たぎる熱誠
厦門の"獻機運動"

【厦門支局特電二十九日發】厦門興亞報國會が[illegible]の記念事業として取り上げた一萬會員の赤誠飛行機獻納運動は決戰下[illegible]めて[illegible]を得たものとして多大の反響を呼び二十三日發付開始以來連日續々と熱誠溢るる獻金が殺到し事務局係員は感激の悲鳴をあげてゐる、二十八日にはすでに總金額三百五十萬元（六十三萬圓）に達する好成績で同會では締切りを一應一月五日とし八日の大詔奉戴日には少くとも十機以上の飛行機製作資金を厦門海軍武官府に獻納する運びとなつた

華人も邦人に呼應
"十機以上獻納"に乘出す

【厦門支局特電二十九日發】厦門在留日本人が飛行機獻納資金募集運動を展開するや此れに呼應し中國人側でも厦門決戰生活運盟の主催で同運盟と主催會並びに保甲聯合會の協同主催により同じく十機以上を目標に活潑な資金募集運動に乘出す事となり二十九日夜は[illegible]會を開催、締切は一月六日で九日の參戰記念日には李市長より汪主席宛に獻金額が寄進される筈である、かくて和平地區厦門でも日華兩國民は文字通り熱血一丸となり大東亞戰爭完遂にそれぞれの邁進を續けてゐる

空氣にさへ不足……
銃後におくる 潜水艦輸送戰記（上）

おろがめ この切々の戰記を

【南太平洋〇〇基地にて旭海軍報道班員發】「畜生、彈丸を、彈丸を」と叫びながら片手片足をもぎ取られた重傷の陸兵が昨夜も狹い艦内をのた打つて息絶えた、この叫びを耳にし、この姿を見ては假令それが敵艦船擊沈の華々しい感激等微塵もなく明暮敵機と敵艦艇の制壓下に神經を尖らして默々と戰はねばならなくとも丸通は飽くまでやらねばならぬ、ニユーギニアへの丸通を果して今朝〇〇基地に歸投した〇〇潜水艦長は心勞に窪んだ兩の目をきらりと光らせながらここ私に語つた、丸通とは潜水艦勇士の隱語で潜水艦による補給輸送の事である、「ニユーギニアの戰は彼の鐵と飛行機に對して我々は肉彈でこれにぶつかつてゐるのだ」と先日の丸通に便乘した陸軍の或部隊長が憮然として語つたが事實ラエ然り、サラモア然り、フインシハーヘン亦然りである、文字通り雨霰と敵砲彈が降注いで來る、仰げば敵機は空を蔽つてゐる、その鐵と飛行機を肉彈が支へるのだ、水のやうな粥をすすり名も知れぬ草の若葉を嚙みながら「彈丸を、飛行機を」と叫びつつ――曾てガダルカナルへ、今又ニユーギニアへ[illegible]絶果敢な丸通が幾度繰返されたことか幾多の丸通秘錄が私の血を今も搔きむしつてゐる、「ガタ、ガタ」ときつと睨んで默つて死んで行つた戰友勇士の赤き血もて染めたガダルカナルの海は今ニユーギニアの海と嚙み結んで吶喊してゐる、補給輸送破壞戰の花形たる潜水艦は斯くて又補給輸送の花形でもあるのだ後者の場合それは花形と言ふには餘りに[illegible]過ぎる、だが鐵と飛行機を肉彈で支へてゐる決死勇士の戰友のために默つて甘んじてやらうではないか、以下[illegible]の花形と共に辿るニユーギニアへの潜水艦丸通秘話である

蚤と蚊攻め

「ちえつ今夜も海と蚊とんぼや蚤が騷々しいぞ」と双眼鏡を目から放した長身美髯の艦長はふと空を仰いで呟いた、空には月齡〇日の大佛樣の眉と言つた程の月が空一面にかかつてゐる、〇〇への補給輸送の重任を帶びた〇〇潜水艦は今その月に夢の如く白々と凪いだ海を[illegible]〇〇節速でひた走つてゐる、双眼鏡をきゆーつと目に當てた見張員は名匠[illegible]の彫像のやうである、〇番見張が突如叩きつけるように叫んだ「左二十度、魚雷艇」この聲が未だ消へぬうちに哨戒長の「潜航急げー」の號令が耳朶を打ちこれを又ひつこくつやうに警急ベルが鳴り響いた、さつき艦長が呟いた蚤とは敵魚雷艇の事である、この邊一帶は月の夜は勿論闇の夜さへ敵の群が橫行してゐるのだ、南の海で潜航爆雷防禦した艦内はただでさへ蒸し暑くやりきれないものである、それが今は艦内は勿論甲板上にまで〇〇日の彈藥、糧食、醫療品等を搭載したのだからたまつたものではない、[illegible]をつく人いきれが身體にむんむんと[illegible]、その中で乘員は[illegible]たる[illegible]のやうにピーンと張つてゐるだけに[illegible]。漸く敵魚雷艇も遠ざかつたらしい、「浮上れー」の號令が傳へられた、[illegible]の去つた後は蚊とんぼならぬ敵機が舞つてゐる、さぶつと波を蹴つて姿を現はした艦めがけて[illegible]燈が流れ星のやうに双眼鏡に飛込んでくるのだ、斯くて夜通し急速潜航をせき立てて警急ベルは鳴りつづくのである、全く眠る事はおろか腰を下す事も出來ない、こうした手荒く激しい敵機、敵艦艇の制壓を受けながらも定められた日時には定められた揚陸點に浮上しなければならぬ所に丸通の苦勞がある、艦長以下基地を出て基地に歸り着くまでの〇〇日目と言ふものは假睡さへ出來ない

敵前の放れ業

椰子、マングローブの密林が暗礁海岸に死ちよろげた「オーイ」と呼べば「オーイ」と答へてくる〇〇の陸岸を潜望鏡からじつと見詰めてゐる艦長の目は窪んで血走つてゐる、所定の揚陸點に到着したのである、幸ひ空には敵機も見へない「浮上れー」「メインタンクブロー」「前後部ハッチ開け」の號令が矢繼早に傳達を奔流の如く駈け廻つた、揚陸作業員は早くも甲板上に躍り出して人間一人やつと出入出來る大きさでしかないハッチから彈藥、醫療品等を次々と引上げては〇〇へ移乘する、それは人間業とは思はれない早さである、さもあらう、この揚陸作業程危險なものはない、何時何處から敵機が現はれるかも知れぬのだ、何處で又蚤が虎視眈々と狙つてゐるかも知れぬのだ、而も基地にあつる以外は絶對に開かぬことを原則としてゐる前後部ハッチを敵前で開いてゐるのである、一分でも一秒でも早く揚陸しなければならぬ、みんな見張員の目に[illegible]を託して夢中で運び詰む、基地で搭載する時は十餘時間も要した彈藥、醫療品等が斯くて僅三十分間程で揚陸を終つたもやしのやうな體がこれである、鐵船勇士の精神力の偉大さを此處にも見る「お世話樣になりました」と重い装具を身につけた陸兵が彈藥の後を追つて上陸する、「賴む」そことこれを見送る乘員、兩者の目はがつきと組んで千萬言も及ばぬ輝きを放つてゐる、そこには海軍とか陸軍とかの區別は微塵も見られぬ、ただあるは[illegible]沸々として燃える日本人の赤き血潮だけだ、一足一足遠ざかる陸兵の肢で戰鬪袋がその一足毎に右に左に白く重く搖れてゐる、その戰鬪袋には又乘員の眞心が籠つてゐるのだ、それは今朝潜航中の事であつた、基地を出る時各方振りで配られた慰問袋をみんなが申合せたやうに開いてゐる中味を出して秋深む故國の香でも味はふのかと見ればそうではなかつた、中味はそつくりそのまま手もつけずに[illegible]それに自分の煙草罐詰等を[illegible]切れる程詰めそしてそれを陸兵に贈つてゐるではないか「僕等も乏しい食糧でちやで何物もないのでなあ」と言ひながら陽や空氣にさへ不足してゐる鐵船乘員のこの美しい心、私の胸はヂーンと締めつけられて涙が止度もなく頰を傳はり落ちた

外國人感激の獻金

臺北市蓬萊町靜修女學校の教諭スペイン人ガビリエル・オルマエチエア、カンデラリヤ・ゴイコエチエアの兩氏は皇軍の赫々たる戰果に日本在留の異國人として喜びに堪へず二十八日軍司令部を訪れ「五百圓」を獻金した

鹵獲火器で敵機狙ふ

鹵獲對空火器で敵機必殺の照準を定める我が勇士（於印緬國境熊本陸軍報道班員撮影＝陸軍省檢閲濟〇）

[illegible]

「うはの空から百彈來る」
年末年始 防空に特段の注意を

敵アメリカは遂々無理無體に反攻を續けニューブリテン島にニューアイルランド島に、或はマーシャル諸島方面に執拗なる挑戰を企てて來た、タラワ、マキン兩島四千五百の勇士玉碎もこのためである、嶋田海相のいふ如く、今はその日々の戰ひが一つ一つ決戰の連續で、それで遂に大勢を決するのだから、今日現在は正に決戰の最中であることを知らなくてはならない、皇民奉公會中央本部では其の意味に於て先に年末年始の決戰心得として

一、年末年始の虚禮全部廢止
一、同期間の休暇返上
一、正月の名刺交換會取止め
一、決戰服裝の服裝常用

等を決定地方支部へ夫々通知したが、更に各關係方面と協議し、年末年始の間に防空に格段の注意を喚起することになつた。即ち各奉公班では「うはの空から百彈來る」の標語を[illegible]し、班内の申合等により必ず防空訓練を續け今日までの好評を其の儘續行するやう指導してゐる。更に又增産の面は年末年始のために其の能率が落ちたり、氣が緩むやうなことのない樣十分の注意が要望されてゐる

空襲に備へ、册子配布
臺灣醫師會で三種編纂

臺灣醫師會では戰時必死の秋我等銃後の空を護る民防空の戰士は一人でも多くすぐ活動出來る健康な人で固めなければならぬ、また萬一敵機が來襲して民衆の頭上に爆彈の雨を降らせ、不幸にも民衆に犧牲者が出た場合如何にすれば良いか、うろたへ騷ぐだけではだめだ、それには平素から救急處置として誰もが心得べき事項を習得して置く事が一番肝腎な事である、この緊急缺くべからざる必要時のために今般「救急法指導要項」「血液型の臨床檢査法指針」「救急法指針」の三小册子を最も理解しやすく編纂これを無償で各州醫師會及び警務部に廿九日配布、[illegible]醫師會士の[illegible]と拍車をかける事となつた、配布部數次の通り（各州加算部數）◇救急法指導要項 警察部一千[illegible]、醫師會二千二百五十[illegible]◇血液型の臨床檢査法指針 警察部一千[illegible]、醫師會一千[illegible]◇救急法指針 警察部一千[illegible]、醫師會二千二百五十五

我陸海軍に戰鬪機獻納 ビルマ

【東京發】獨立以來大東亞戰爭完遂に國を擧げて協力しつつあるビルマでは擧てビルマ防衛のための飛行機獻納資金募集中であつたが、この程その第一陣分が纒まつたので駐日大使テー・モン博士は二十九日午前九時半大東亞省に青木大東亞相を訪問、陸軍へ二機、海軍へ一機それぞれ最新鋭戰鬪機獻納の手續をとつた陸海軍では可及的速かにビルマ國民の熱意に應へてビルマ國民の獻納に依る旨明示すべき特殊の意匠を施した新鋭機を第一線へ送る筈である

不心得者は嚴罰に

【嘉義電話】嘉義郡警察課ではこの程某部の命令によると詐稱して製紙原料の買收をなした嘉義市北社尾二百十二番地黃[illegible]（三〇）を拘留十日間に處したが同部では今後この種の不心得者に對しては斷乎嚴罰を以て臨む方針であると一般に警告してゐる

出陣學徒壯行音樂會

【東京支局特電】東京基督教青年會主催の出陣學徒壯行音樂會は二十九日東京神田の東京基督青年會館で盛大に擧行された、この日午前十一時近く入營する出陣學徒〇〇名はキリスト教關係會員[illegible]名の拍手を受けて午後一時から國民儀禮に始まり音樂壯行會にうつり終了後[illegible]同三時終了した

三峡街奉壯團

滅敵の飛機に蹶起し
敢然！降炭作業に挺身
彈丸を運ぶ氣持で石炭を

決戰下一[illegible]も早く石炭の[illegible]ばならない秋三峡街内各炭礦では勞力不足の爲出炭が[illegible]上影響が[illegible]しい[illegible]この事を聞いた[illegible]奉公會[illegible]に[illegible]去る二十五日坑内[illegible]作業に[illegible]して[illegible]本島よりのマキン、タラワの[illegible]勇士の心を心とし坑口近くに山と積まれた石炭を泥まみれになつて炭車に積み込み一[illegible]

島都市民へ贈物
迎春用豚肉と鷄肉

必勝の年昭和十九年の新春を迎へるに際り臺北都市民に豚肉と鷄肉の贈り物＝市民に正月の氣分を味はつて貰ひたいと云ふ臺北州の親心から州下各部から一千頭の豚が臺北市に入荷する事になつた、既に一部では配給を行つてゐるが[illegible]

武官府で東方派遣 タイピスト募集

臺北海軍武官府では東方派遣のタイピストを左記の通り募集するが希望者は一月五日迄に履歴書を持つて同府へ[illegible]

一、員數 若干
一、資格
1、國民學校高等科卒業程度以上のもの
2、年齡十八歳以上二十五歳迄
3、身體强健品行方正のもの
4、少くとも一年以上勤務するもの
四、待遇 給料月額百十圓位
五、宿舍、食事、[illegible]

事務局開局式
皇奉臺中支部

【臺中電話】皇奉臺中州支部の事務局開局式は二十八日午前十時より州會議室にて新事務局員の辭令交付式に引續き擧行された、定刻國民儀禮執行後、森田支部長の挨拶あつて遠山事務局長の"決死の覺悟を以つて事に邁進する"と力強き誓ひの後、來賓挨拶あり[illegible]萬歳三唱を以て盛會裡に閉式を告げた

ラジオ

第一放送
◇七・〇〇 時報
◇〇・〇〇 時報
◇〇・二〇 國民合唱「大航空の歌」他
◇六・〇〇 時報、少國民の時間 シンフン
◇六・二五 番組豫告（各局）他
◇六・三〇 管絃樂一、交響詩『大東亞海に日出づる』
◇七・〇〇 時報、報道、マンドリン合奏、物語宮本武藏、落語 粟入うなぎ
◇九・〇〇 時報、中支だより
◇九・三〇 歌と管絃樂（音盤）（臺北）日本民謡集

第二放送
◇六・〇〇 時報（[illegible]）
◇六・二〇 少國民の時間 [illegible]

講習生募集
臺北事務員養成講習會
○授業編成 男子部 普通科 中等科 女子部 普通科 中等科 高等科
○入所資格 [illegible]
○學科目 [illegible]
○修業 各科六ケ月（規則書要四錢切手）
○入所試驗 一月九日（晝夜各部）
○寄宿舍 完備ス（地方ノ者ハ全部收容ス）
公認 臺北事務員養成講習所
臺北市三橋町二〇番地（電話九七一九）

從業員募集
一、若干名 男女共
一、職種 一般工員
一、年齡 男女共十三歳以上四十五歳以下
一、條件 男子ハ勞務手帳持參ノコト、未ダ勞務手帳ナキ人ハ係ニ相談セラレタシ
右法令ノ範圍内ニ於テ優遇ス 希望者ハ來社ノ上申込マレタシ
七星郡内湖庄東新庄子一七八
臺灣ゴム株式會社勞務係

院名變更廣告
本院今般國民醫療法ニ依リ院名ヲ左記ノ通リ變更仕リ候間此段謹告候也
舊名 木村胃腸病醫院
新名 木村内科醫院
昭和十八年十二月三十日
臺北市太平町一丁目九十四番地
院長 木村 謹吾
電話一四四九

債權申出公告
[illegible]
保證責任新店信用販賣利用組合
保證責任安坑信用販賣利用組合

父 勳八等功七級吉良時哉儀豫而病氣療養中ノ處二十九日午後二時二十五分自宅ニ於テ死去致候ニ付生前ノ御厚情ヲ拜謝シ此段謹告候也
[illegible]
男（出征中） 成彦
佐伯繁雄
八板志賀助人
石井福松

父 從七位勳八等三村政彦儀病氣療養中ノ處十九日午前十一時二十分死去致候間生前ノ御厚誼ヲ謝シ此段謹告仕候
昭和十八年十二月[illegible]
[illegible]
長男 三村政治
三村致士
三村良佐
三村[illegible]孝
[illegible]

會葬御禮
澤谷雅吉
親族一同

御挨拶
謹啓時局下多事多端の折柄皆々樣益々御隆昌の段大慶に存じます陳者戰局は日一日と苛烈の度を加へ今や我國は有史以來の大難局に直面しておりますので億兆一心擧國聖業完遂に邁進すべき秋であります、此の時に當り私達も徒らに舊套に泥んで安閑たるべき場合ではありませんので國策に誠心協力仕るべき時とし信じておりました處今般軍より兵站旅館としての御指定がありましたので私達は衷心より謹んで軍の御意嚮に副ふ事に決心致しました就ては弊店は昭和五年八月家號『永樂』として和洋料理業を開店致してより十四年間皆樣方の厚き御庇護に預りましたが茲に十二月二十八日限り廢業に致す事に致しました八年以來の十四年間家父初太郎が皆樣方の絶大なる御援助の下に懸命の努力を續みますれば開業以來の十四年間家父初太郎が皆樣方の絶大なる御援助の下に懸命の努力を仕りました斯業を廢止することに相成りました事に就いては私達として洵に感慨無量のものがありますが然し乍ら上述の事をお許し願ひ度いと存じます[illegible]
昭和十八年十二月卅日
永樂
店主 篠塚武雄
男女從業員一同
謹言

臺北州合同興行會社經營
本日は午勝手休館仕候
大世界館 芳乃館 新世界館 臺灣劇場 [illegible]

本日ハ午勝手休館仕候 國際館

本日ハ午勝手休館仕候
基隆劇場 新竹劇場 有樂館

第六回決算公告
[illegible]
昭和十八年十一月
臺灣硝子株式會社

[illegible]公告
[illegible]
昭和十八年十二月
臺北地方法院

石堂 [illegible]
邦文タイピスト [illegible]
タイ [illegible]
看護婦 [illegible]
女兒 [illegible]
女子 [illegible]
女中 [illegible]
女中 [illegible]
海口 [illegible]
寫眞 [illegible]
住宅 [illegible]
洗濯 [illegible]
尋犬 [illegible]
蓄音器・ラジオ [illegible]
ラジオ [illegible]
投資 [illegible]
寫眞 [illegible]
ピアノ、オルガン [illegible]
轉宅 [illegible]
陸上 [illegible]
引越 [illegible]
引越 [illegible]
引越 [illegible]
のせ [illegible]
新 [illegible]
冷藏庫 [illegible]
結婚 [illegible]
防空 [illegible]

喪中缺禮 [illegible]
喪中缺禮 石[illegible]
喪中缺禮 千枝[illegible]
喪中缺禮 本下[illegible]
喪中缺禮 大江山[illegible]
喪中缺禮 西山平[illegible]
喪中缺禮 杉田[illegible]
喪中缺禮 大島[illegible]
喪中缺禮 蔡有[illegible]
喪中缺禮 岡村榮[illegible]
喪中缺禮 村瀨存[illegible]
喪中缺禮 唐木シ[illegible]
喪中缺禮 宮地カネ
喪中缺禮 近藤吉[illegible]
喪中缺禮 中路ヤス
喪中缺禮 飯尾[illegible]
喪中缺禮 梶川[illegible]
喪中缺禮 山本フ[illegible]
喪中缺禮 古山ノブ
喪中缺禮 長[illegible]
喪中缺禮 田中[illegible]